

レジメン名	アテゾリズマブ+ベバシズマブ
がん種	肝細胞癌(Child-Pugh分類A)

一般名	投与量	単位
アテゾリズマブ	1200 mg/body	
ベバシズマブ	15 mg/kg	

3週間隔

day 1 ... 8 ... 15 ... 22 ... 29 ... 36 ... 43

1コース 2コース

		治療内容	
		メイン	側管
<p>ルート確保用輸液は、所要時間に合わせて適宜速度調節する。治療薬の投与中は中止可。残破棄可。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin: 5px 0;">生食(250ml)</div> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">↓</p> <p style="text-align: center;">ルート確保</p>	経過時間	0	テセントリクには、0.2μmまたは0.22μmのインラインフィルターを使用
	:30	(30分) ①	テセントリク 生食(250ml) 初回治療時の認容性が良好であれば次回より、30分に短縮可
	1	1時間	等速
	:30	②	アバステン 生食(100ml) 初回治療時の認容性が良好であれば次回より、60分→30分と短縮可
	2	90分 →60分 →30分	生食(50ml) フラッシュ用
	:30	3	等速
	3	3	生食(50ml) フラッシュ用 残破棄可
:30	4		アバステンの投与時間が30分となる時点から、外来治療可
:30	5		
:30	6		
:30	7		

最後は、針先が抗癌剤を含まない輸液に満たされた後、抜針する。

曝露防止の観点より、あらかじめメインの輸液から側管用ルートのプライミングを行い、びん針の先に接続チューブをセットして準備する。